

平成24年度 学内教育GPプログラム事業経費計画書（継続型）

事業名称	学際生命科学東京コンソーシアムによる全人的大学院教育
取組代表者名 担当者名	代表者：小林哲幸 担当者：河村哲也、松浦悦子、由良 敬、椎尾一郎、棚谷 綾、千葉和義、 太田裕治、森 義仁
事業内容	<p>(事業の概要)</p> <p>平成21年度～23年度の“大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム”で採択された「学際生命科学東京コンソーシアムによる全人的大学院人材育成拠点の確立」では、学際生命科学分野の高度化において互いに補完的な特色を有し、東京の中心部に位置する東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学の四大学が中核となり、首都圏の様々な研究機関・企業・自治体と連携の輪を広げて産官学地域ネットワークを確立することを目指した。</p> <p>具体的には、四大学がこのような地域ネットワークと連携しつつ補完的に大学院共通カリキュラムの開発やインターンシップ共同実施、学生支援共同実施等の教育高度化システム構築や地域連携を行うことにより、国・私立の枠を超えて地域と連携した異分野融合的教育研究環境を構築し、幅広い学識を備え真の社会ニーズを理解して探究できる人材の育成に有効な教育研究システムの基盤を構築しつつある。</p> <p>(事業実績と大学全体への波及効果、および支援期間後の見通し)</p> <p>本コンソーシアム事業により、応用生命科学(医学、薬学)分野における先端的な教育を補完的に深化できること、並びに幅広い企業との連携を深めることができた。本事業で構築された大学院教育システムと地域・企業連携ネットワークは本大学全体の新しい大学院教育改革の方向性とも合致し、有効に活用できるものである。</p> <p>支援期間後も引き続き、東京医科歯科大学を中心として四大学が重点項目に絞ってコンソーシアム活動を継続して行く方針である。しかし、財政的には各大学からの支援を仰がざるをえない状況である。</p>
事業期間終了後の計画	<p>H24年度以降(補助金による支援終了後)も継続的に行う事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通カリキュラムの充実 共通シラバスの改定、履修モデルの検証と更新などを継続し、補完的教育に有用なシラバスの完成を目指す ・学位の質・透明性の保証 四大学大学院間での相互研究指導と学位審査への相互参加を更に推進する ・FD活動の充実 英語での授業の仕方など、今後の大学院教育に必要なFD活動を共同で実施する ・院生のキャリア形成支援 四大学が協働した学外研修、インターンシップ、合同会社説明会を継続して行う ・留学生支援 英語による講義、日本語指導、留学生交流支援を継続して実施する ・市民講演会 「いのちの科学」をメインテーマとした合同の市民講演会を実施する

・社会人教育

ライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラム(履修教育プログラム)を有料化して継続する予定

以上の事業を通じて、補完的連携に基づいた新しい大学院教育モデルを構築し、本学をはじめ連携大学の大学院教育改革に貢献する。